

## 別紙 3

### 文化芸術祭“LiveS Beyond II”企画運営等業務等委託 公募型プロポーザル審査要領

この「公募型プロポーザル審査要領」は、佐賀県が実施する「文化芸術祭“LiveS Beyond II”」企画運営等業務委託に係る受託候補者を選定するために行う公募型プロポーザルの審査について、必要な事項を定めるものとする。

#### 1 審査会及び審査員

審査会は、以下に掲げる審査員5名で構成する。また、審査会の会長は、文化課長（代理するものを含む）が務める。

なお、審査会の審査は、原則として審査員全員が出席して行うものとし、審査会は審査員の3名以上の出席がなければ開催することができないものとする。

（審査会構成）

ア	文化・観光局	1名
イ	文化課	1名
ウ	文化課	1名
エ	観光課	1名
オ	広報広聴課	1名

#### 2 審査方法

各審査員は、原則として、プロポーザル参加者から提出された企画書について、その企画意図等の説明を受けた上で、次に掲げる評点の標準に従い、評価基準に沿って評定を行うこととする。なお、必要に応じて当該参加者へのヒアリングを実施する。

#### 3 評価基準

別表「評価基準」のとおり

#### 4 審査結果及び委託業者の決定

- (1) 採点結果は取りまとめを行い、審査結果は、評価基準ごとの各審査員の評点の総計の合計点をふまえ、審査会の意見を聴取し、最終的に審査会の会長が最優秀者を決定する。
- (2) 最優秀者の合計点が、各審査員の持つ得点の満点の合計点の5割に満たない場合は、再度企画公募を行うこととする。
- (3) 最優秀者を決定後、当該企画提案応募者に対し、書面により採否を通知する。
- (4) その後、佐賀県財務規則をはじめ関係する諸規定に基づき、必要な手続きを経て正式に委託業者を決定するものとする。

別表「評価基準」

項目	基準	評点	
1. 企画内容の評価 (45)			
事業目的との整合性	事業の趣旨を的確、適切にとらえた企画か。 (チェックポイント) ・事業の趣旨を理解した提案であるか。 ・県内各地の地域づくりに貢献する内容であるか。 ・集客力があり、将来的に自走可能な内容を目指しているか。 イベント内容が今後継続して行われるような提案であるか。 ・出演者や制作スタッフ等、幅広い層の参画が期待できるネットワークを有し、提案に反映しているか。 等	20	45
企画内容の創造性	事業や広報の企画内容について、創造性に富んだ魅力的な内容となっているか。 (チェックポイント) ・県民と関係者が興味を持つような新たな視点での提案があるか。 ・様々な広報媒体を活用し、より多くの人が情報を入手できるような工夫がなされているか。 ・他の企画には見られない創造的なものがあるか。 等	15	
企画内容の妥当性	県のイベントに相応しい品位があり、現実的な提案であるか。 (チェックポイント) ・信頼性や品位が感じられるか。 ・事業に対する良好なイメージを発信できるか。 ・企画に無理がなく、実現可能か。 等	5	
その他の評価	その他、特に評価に値する点があるか。 (チェックポイント) ・斬新な工夫など特筆すべき点があるか。 等	5	
2. 実施体制等の評価 (55)			
実施主体の適格性	本業務が遂行可能な人員体制と計画性を有しているか。 (チェックポイント) ・人員の確保や体制は十分と思われるか。 ・無理が無く且つ円滑な計画を示しているか。 等	20	55
イベントの開催実績	十分な実績を持ち合わせているか。 (チェックポイント) 過去3年間に行政機関や民間企業のイベント開催実績があるか。	15	
経費の妥当性	見積額は妥当か。 (チェックポイント) ・内訳の額が適正であるか。 等	20	

※最低基準点は、参加審査員全員分の持ち点を合計した点数の5割とする。